

平成 18 年度 市政世論調査結果報告書

概要版

はじめに

当市の市政世論調査は昭和 45 年に実施して以来、今回で 37 回目となります。

市政世論調査は市民各層の行政ニーズを的確にとらえ、行政施策に反映させていくために継続して実施しているものです。

今回は「暮らしや居留意向について」、「男女の役割や共同参画について」、「越谷市健康づくり行動計画『いきいき越谷 21』について」、「身近でできる地球温暖化対策について」、「住宅用火災警報器について」、「生涯学習について」、「スポーツの実施について」、「市の施策について」の各テーマにおいて、市民意識の把握に努めました。

今回の調査で、すべてのニーズや問題点が解明されたわけではありませんが、調査の結果を今後の市政運営の参考資料として活用しながら、市民の期待に応えられるまちづくりや、行政サービスを推進していきたいと考えています。

ご多忙にもかかわらず、市政世論調査にご協力をいただきました市民の皆様にご心よりお礼申し上げます。

平成 18 年 12 月

越谷市長 板川 文夫

調査の概要

調査地域	越谷市内全域
調査対象	市内在住の 20 歳以上の男女
対象者数	5,000 人
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
調査方法	郵送発送・郵送回収法
調査期間	平成 18 年 6 月 20 日～平成 18 年 7 月 4 日
回収結果	回収票数 1,845 (36.88%) 有効票数 1,844 (36.88%)

本調査報告書（概要版）の見方について

調査結果の比率は、その回答者数を基数として、小数第 2 位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が 100% にならない場合がある。

複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100% を超える。

図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。

選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。

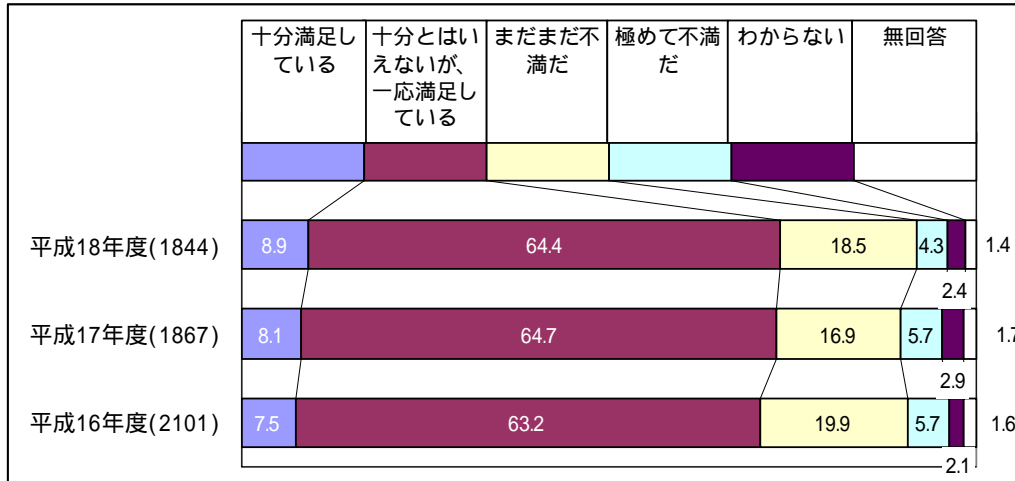
暮らしや居住意向について

現在の暮らし向き

満足している人が少しずつ増加

現在の暮らし向きについて満足している人の割合は、平成16年度70.7%、平成17年度72.8%、今回調査では73.3%と、やや増加傾向にあります。

問8 あなたは、現在の暮らし向きについて、どのように思っていますか。 単位：%



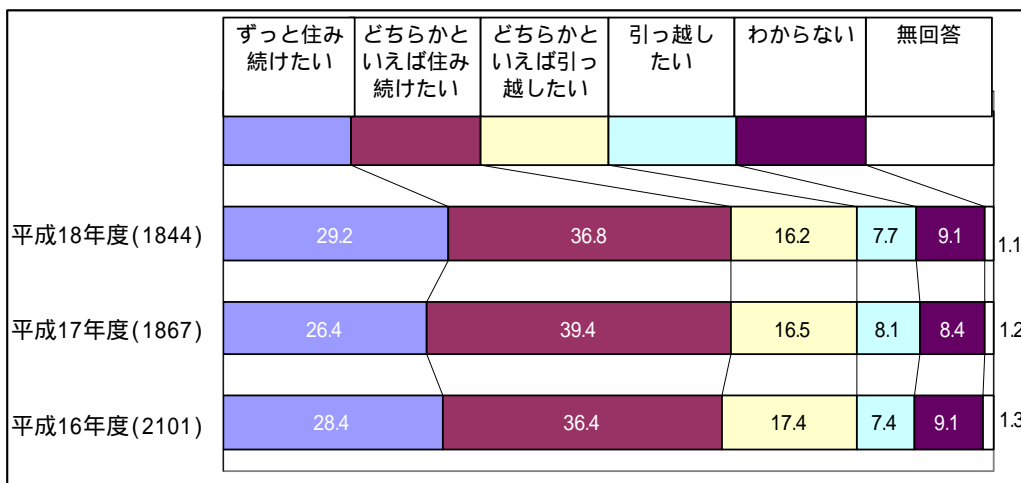
()内の数字は、有効票数です。

今後の居住意向

住み続けたい人が約3分の2

「ずっと住み続けたい」は、前回結果よりも増えており、「どちらかといえば住み続けたい」と合わせた「住み続けたい」人は、16年度以降やや増加傾向にあります。

問9 あなたは今後も、現在のところに住み続けたいと思いますか。 単位：%



()内の数字は、有効票数です。

男女の役割や共同参画について

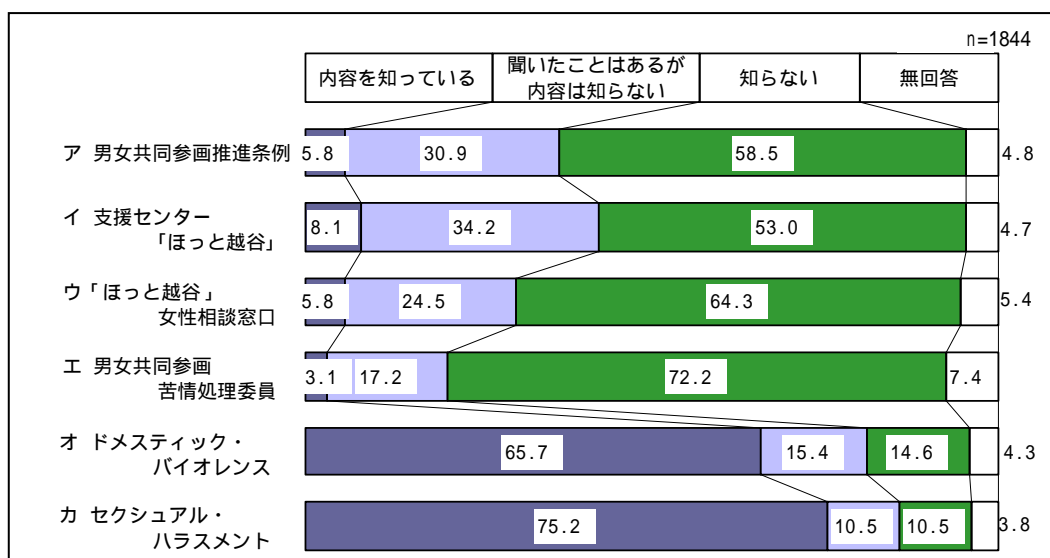
男女の役割や共同参画について

「ドメスティック・バイオレンス」「セクシュアル・ハラスメント」は良く知られている

「ドメスティック・バイオレンス」「セクシュアル・ハラスメント」の認知度が高い一方、その他の項目は「知らない」が5割以上となっています。

問 10 あなたは、次に掲げる「ことば」や「ことがら」を知っていますか。

単位：%



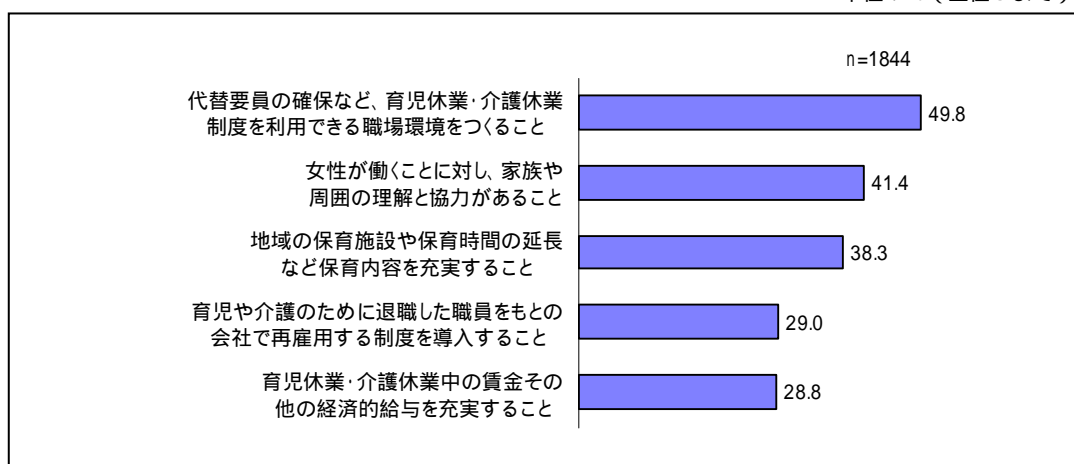
男女がともに仕事と家庭を両立するための条件

育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境が約5割

「育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境」が 49.8%、「理解と協力」が 41.4%、「保育内容の充実」が 38.3%などとなっています。

問 13 一般的に、男女が共に仕事と家庭の両立をしていくためには、どのような条件が必要だと思いますか。

単位：%（上位5まで）



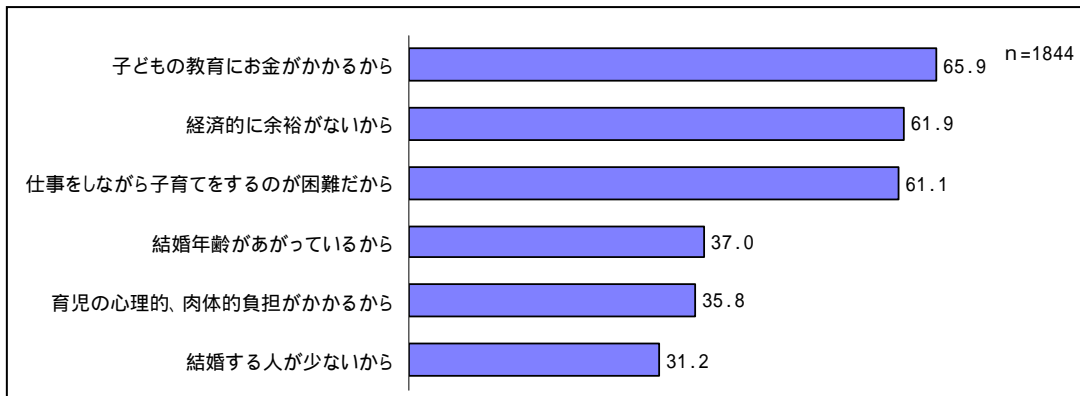
少子化の理由

教育費がかかる、経済的余裕がない、仕事・子育ての両立困難が6割台

「子どもの教育にお金がかかるから」「経済的に余裕がないから」という『経済的理由』、「仕事をしながら子育てをするのが困難だから」という『仕事との両立の困難』がそれぞれ6割台と非常に多くなっています。

問 14 最近、子どもの生まれる数が少なくなっていますが、あなたはどのような理由からだと思いますか。

単位：％（上位6まで）



「いきいき越谷21」について

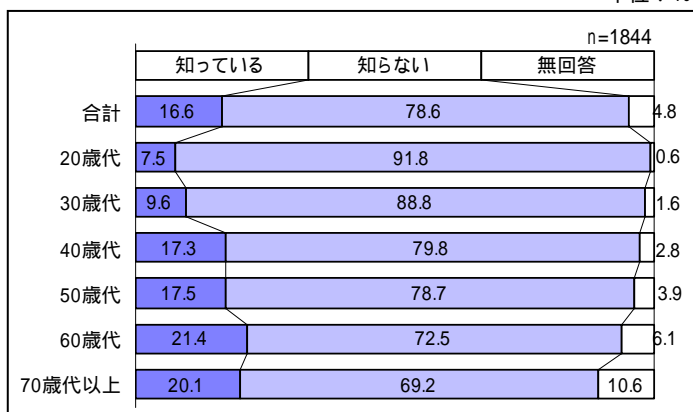
「いきいき越谷21」の認知度

知らない人が78.6%

知っている人が16.6%、知らない人が78.6%となっており、20～30歳代で知っている人が1割未満と特に少なくなっています。

問 16 あなたは、越谷市健康づくり行動計画「いきいき越谷21」を知っていますか。

単位：％



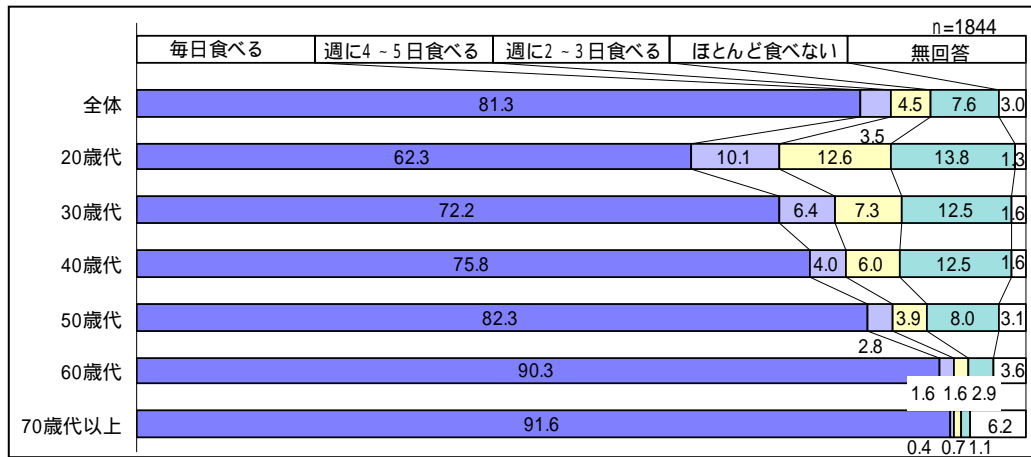
朝食の摂取状況

朝食を毎日食べている人が約8割

朝食を毎日食べる人は81.3%と約8割います。年代が下がるほど毎日食べる人が減っており、20歳代では62.3%と約6割しかいません。

問 17 あなたは、毎日朝食を食べていますか。

単位：%

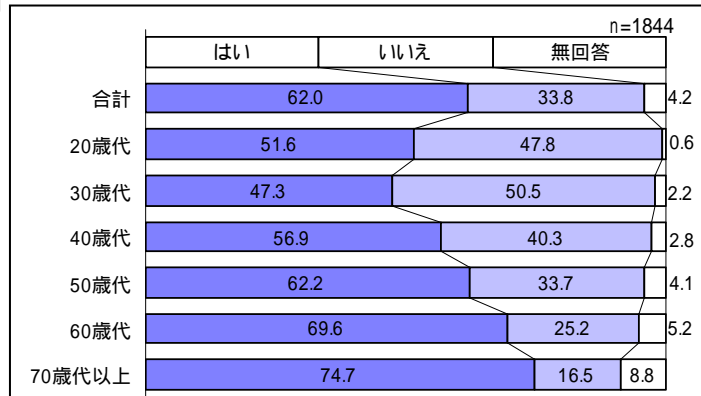


歩くことについて

歩くことを心がけている人が約6割

歩くことを心がけている人の割合は62.0%で、年代が上がるほど割合も高くなります。最も少ない30歳代と、最も多い70歳代以上は約30ポイントの差があります。

問 21 あなたは、日常生活で歩くことを心がけていますか。単位：%



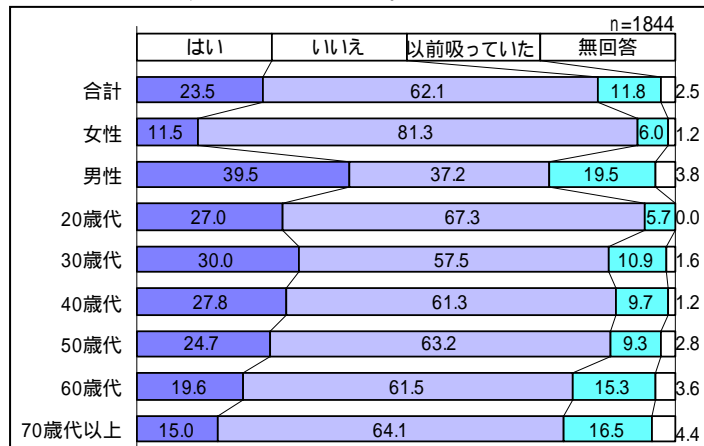
喫煙状況

たばこを吸わない人が73.9%

たばこを吸う人が23.5%、吸わない人が62.1%、以前吸っていた人が11.8%となっています。男性の方が吸う人が多く、また年代が上がるほど、たばこを吸う人が少なくなっています。

問 23 あなたは、たばこを吸いますか。単位：%

単位：%

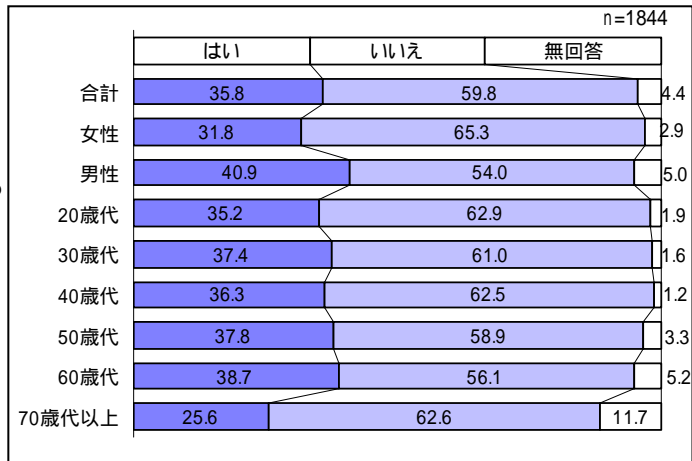


歯の健康状態

虫歯のある人が 35.8%

虫歯のある人が 35.8%、虫歯のない人が 59.8%います。男性の方がやや虫歯のある人が多くなっていますが、年齢による差はあまりありません。

問 24 あなたは、現在、虫歯がありますか。 単位：%



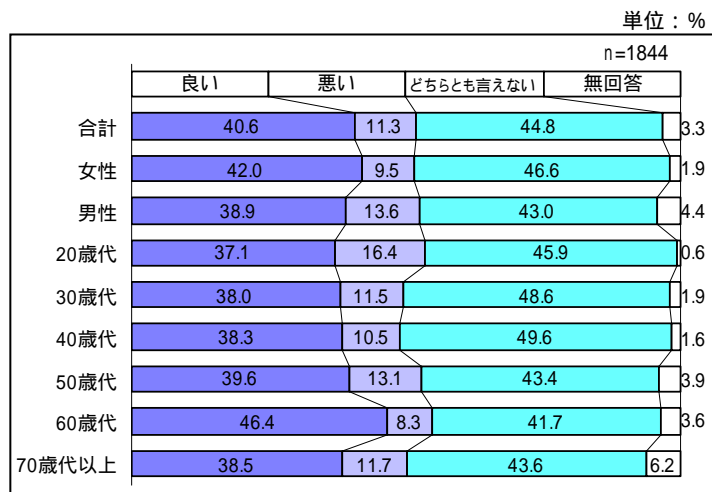
心の健康状態

心の健康状態が良い人が約 4 割

心の健康状態が良いと感じている人は 40.6%、悪いと感じている人は 11.3%です。

心の健康状態の悪いと感じている人は男性でやや多くなっています。また最も多い 20 歳代は、最も少ない 60 歳代の約 2 倍になっています。

問 26 あなたは、現在の心の健康状態についてどのように感じていますか。 単位：%



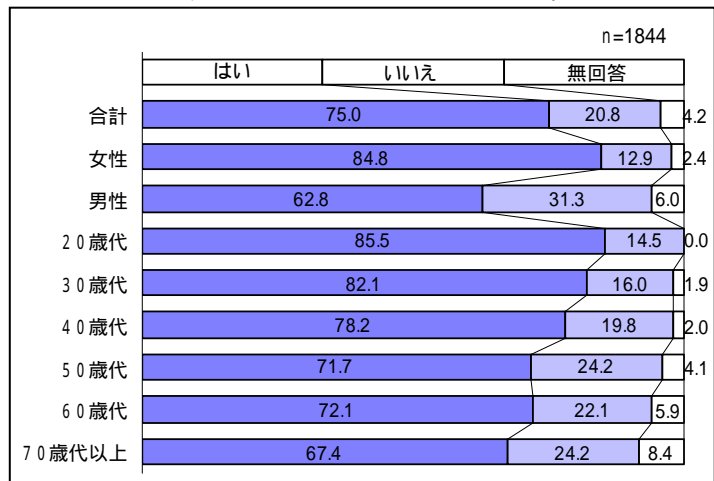
相談相手の有無

相談相手がいない人が約 2 割

相談相手がいる人が 75.0%、いない人が 20.8%で、約 2 割に相談相手がいません。

相談相手がいる人は女性に多く、男性と 20 ポイント以上差があります。また、年代が上がるほど相談相手がいる人が減り、最も多い 20 歳代と、最も少ない 70 歳代以上では、約 18 ポイントの差があります。

問 27 あなたは、悩みごとを相談できる人がいますか。 単位：%

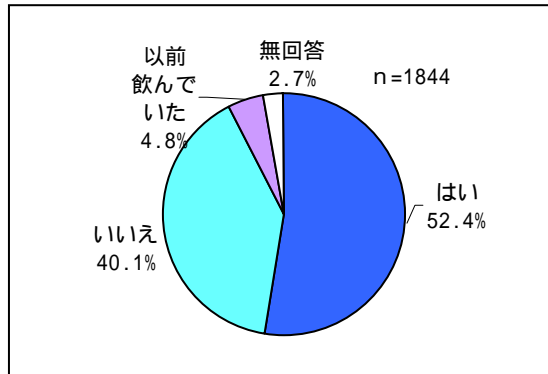


アルコールの摂取状況

お酒を飲む人が約半数

お酒を飲む人は全体の52.4%で、約半数が飲酒をしています。

問 28 あなたは、アルコール飲料を飲みますか。

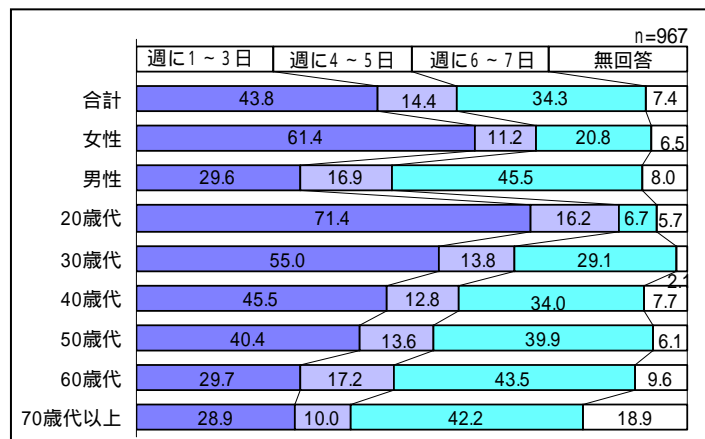


アルコールの摂取頻度

ほぼ毎日飲む人が34.3%

飲酒の頻度は週に1~3日飲む人が43.8%、週に4~5日飲む人が14.4%、ほぼ毎日(週に6~7日)飲む人が34.3%います。男性の方が飲酒頻度が高く、年代が上がるほど飲酒頻度が高くなります。

問 28-1 アルコール飲料はどのくらい飲みますか。 単位：%



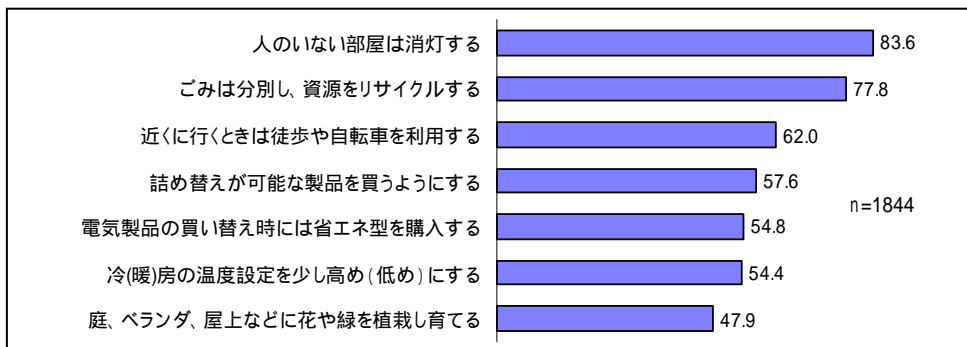
地球温暖化対策について

地球温暖化防止のために心がけていること

「消灯」が83.6%、「リサイクル」が77.8%

「消灯」が83.6%で最も多く、次いで「リサイクル」が77.8%となっています。

問 31 あなたが、地球温暖化防止のために心がけていることは何ですか。 単位：% (上位7まで)



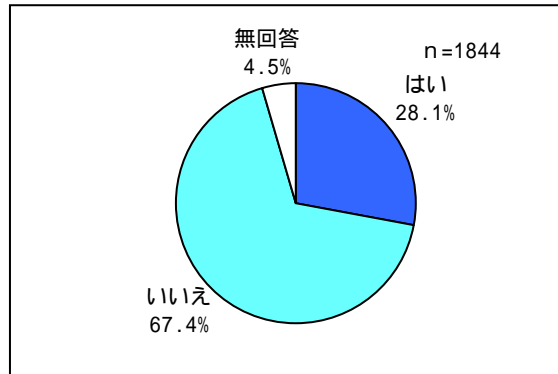
住宅用火災警報器について

住宅用火災警報器の設置状況

設置している人が 28.1%

住宅用火災警報器を設置している人が 28.1%、していない人が 67.4% となっています。

問 33 あなたの住宅は、住宅用火災警報器を設置していますか。



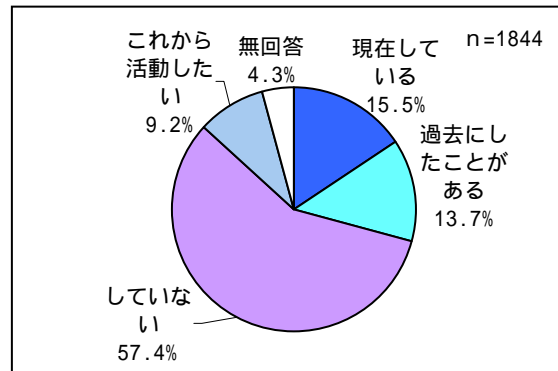
生涯学習について

生涯学習の活動状況

生涯学習活動経験者は約 3 割

現在している人は 15.5%、過去にしたことがある人が 13.7%で、約 3 割に生涯学習活動の経験がありますが、していない人は 57.4%と 6 割近くになっています。

問 34 あなたは、生涯学習活動をしていますか。

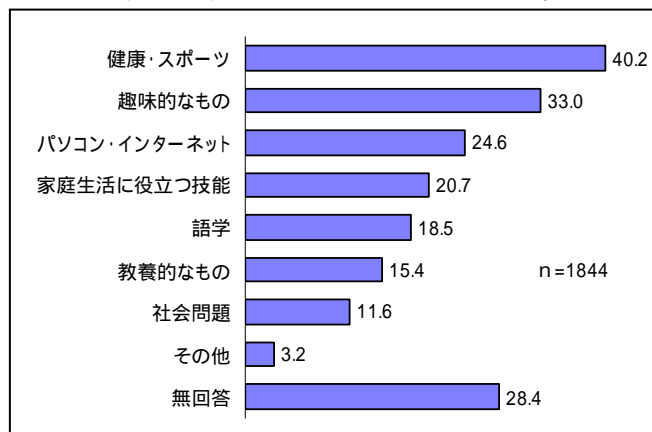


今後開催を望む講座・教室について

健康・スポーツが約 4 割

健康・スポーツが 40.2%で最も多く、次いで趣味的なものが 33.0%、パソコン・インターネットが 24.6%で以下に続いています。

問 37 今後、どのような講座・教室の開催を望みますか。単位：%



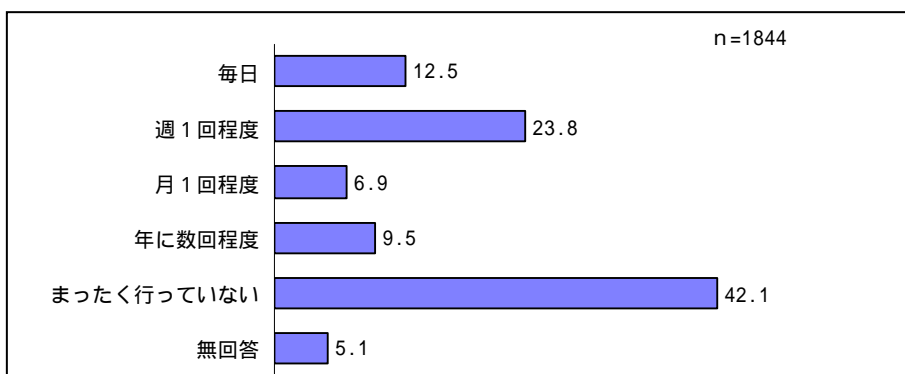
スポーツの実施について

スポーツの実施状況

週1回以上行う人が36.3%

毎日行う人が12.5%、週1回程度が23.8%で、週1回以上行う人が36.3%います。また、まったく行っていない人が42.1%、年に数回程度が9.5%で、半数以上が運動をしていません。

問 39 あなたは、現在どのくらい運動・スポーツを行っていますか。 単位：%



市の施策について

市の施策の評価

「駅周辺の整備」「ごみ・し尿の処理対策」が3割台

「よくなってきたと感じるもの」としては、「駅周辺の整備」が36.5%で去年と同じく最も割合が高く、また、「ごみ・し尿の処理対策」が31.8%と2倍以上増えており、高い評価を受けています。出羽地区、蒲生地区、大相模地区では「バス路線等公共交通網の充実」が「駅周辺の整備」を上回っています。

問 40 ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」をお選びください。

市の施策の評価(居住地区別)

単位：% (上位3まで)

	1位	2位	3位
合計 (n=1844)	駅周辺の整備 36.5	ごみ・し尿の処理対策 31.8	バス路線等公共交通網の充実 27.4
桜井地区	ごみ・し尿の処理対策 36.3	バス路線等公共交通網の充実 33.7	駅周辺の整備 32.1
新方地区	駅周辺の整備 36.4	バス路線等公共交通網の充実 26.3	ごみ・し尿の処理対策 26.3
増林地区	駅周辺の整備 40.6	ごみ・し尿の処理対策 39.6	バス路線等公共交通網の充実 38.7
大袋地区	ごみ・し尿の処理対策 32.0	駅周辺の整備 31.6	下水道の整備 20.7

荻島地区	・駅周辺の整備	・ごみ・し尿の処理対策	・生涯学習の充実
	31.9	19.4	15.3
出羽地区	・バス路線等公共交通網の充実	・駅周辺の整備	・ごみ・し尿の処理対策
	40.4	39.0	32.9
蒲生地区	・バス路線等公共交通網の充実	・ごみ・し尿の処理対策	・駅周辺の整備
	34.2	34.2	30.0
川柳地区	・駅周辺の整備	・バス路線等公共交通網の充実	・ごみ・し尿の処理対策
	40.0	33.3	13.3
大相模地区	・バス路線等公共交通網の充実	・駅周辺の整備	・ごみ・し尿の処理対策
	31.3	28.9	28.9
大沢地区	・駅周辺の整備	・ごみ・し尿の処理対策	・バス路線等公共交通網の充実
	51.0	36.9	32.5
北越谷地区	・駅周辺の整備	・ごみ・し尿の処理対策	・防犯対策
	45.6	30.4	19.0
越ヶ谷地区	・駅周辺の整備	・ごみ・し尿の処理対策	・バス路線等公共交通網の充実
	35.6	30.1	25.6
南越谷地区	・駅周辺の整備	・バス路線等公共交通網の充実	・ごみ・し尿の処理対策
	43.4	33.1	30.3

市の施策への要望

「防犯対策」が約4割

「特に力を入れるべきだと思われるもの」としては、「防犯対策」が40.6%で、昨年に続き最も高い割合を示し、ほぼ全地区で1位となっています。「高齢者福祉の充実」「青少年の健全育成」がこれに続き、安心して暮らせるまちづくりへの希望がうかがえます。新方地区のみ「防犯対策」は3位以下で「災害対策」が第1位にあげられています。また、荻島地区、出羽地区、大相模地区、北越谷地区でも「災害対策」の順位が高くなっています。

問40 今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」をお選びください。

市の施策への要望(居住地区別)

単位：%(上位3まで)

	1位	2位	3位
合計 (n=1844)	防犯対策 40.6	高齢者福祉の充実 29.4	青少年の健全育成 25.0
桜井地区	・防犯対策 41.1	・高齢者福祉の充実 40.0	・青少年の健全育成 25.8
新方地区	・水害や地震などの災害対策 35.4	・高齢者福祉の充実 31.3	・バス路線等公共交通網の充実 25.3

増林地区	・防犯対策	・青少年の健全育成	・高齢者福祉の充実
	41.5	34.0	28.3
大袋地区	・防犯対策	・高齢者福祉の充実	・青少年の健全育成
	38.3	30.9	28.5
荻島地区	・防犯対策	・高齢者福祉の充実	・介護保険の充実 ・自然保護や河川の汚濁防止などの環境保全対策 ・水害や地震などの災害対策
	41.7	23.6	各 22.2
出羽地区	・防犯対策	・高齢者福祉の充実	・水害や地震などの災害対策
	44.5	34.9	29.5
蒲生地区	・防犯対策	・高齢者福祉の充実	・地域医療や救急医療体制の整備
	40.1	27.8	27.0
川柳地区	・防犯対策	・小中学校の教育環境の充実	・青少年の健全育成
	40.0	30.0	26.7
大相模地区	・防犯対策	・高齢者福祉の充実	・水害や地震などの災害対策
	37.3	26.5	24.1
大沢地区	・防犯対策	・青少年の健全育成	・高齢者福祉の充実
	44.6	28.7	26.1
北越谷地区	・防犯対策	・水害や地震などの災害対策	・青少年の健全育成
	45.6	31.6	29.1
越ヶ谷地区	・防犯対策	・高齢者福祉の充実	・青少年の健全育成
	37.0	27.9	25.1
南越谷地区	・防犯対策	・青少年の健全育成	・地域医療や救急医療体制の整備
	49.7	26.9	25.5

平成 18 年度
市政世論調査結果報告書
概要版
発行日 / 平成 18 年 12 月
発行 / 越谷市 秘書室 広報広聴課

〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
TEL.048-963-9117 (直通)